

第一艦隊司令官 藤田 虎四郎 (大佐)  
 第二艦隊司令官 大西 瀧治郎 (大佐)  
 第三艦隊司令官 三宅 三郎 (大佐)  
 第四艦隊司令官 島田 繁太郎 (大佐)  
 第五艦隊司令官 坂井 三郎 (大佐)  
 第六艦隊司令官 志村 規三 (大佐)  
 第七艦隊司令官 高橋 謙吉 (大佐)  
 第八艦隊司令官 伊藤 忠成 (大佐)  
 第九艦隊司令官 西澤 廣 (大佐)  
 第十艦隊司令官 坂井 三郎 (大佐)

大正十一年七月二十五日  
 海軍省



兵務局秘字五五〇 辨

大正十一年七月二十五日

總務課長

兵庫縣知事 有吉忠一

内務大臣 床次竹二郎 陳

警務 祝 念 宜 陳  
 北海道、京都、大阪、那珂川  
 井ノ口、水戸、栃木、群馬  
 右島、福島、鹿島、冬島、熊本、佐賀、  
 中ノ地、大才、新井、松原、石

川崎造船所分工場職工

四時業狀況、千二百人 (一千二百五後)

川崎造船所分工場八日、二十七日、八休業、廿九日、  
 七日、同日、相当地、其間之北五日、开始業、千二百